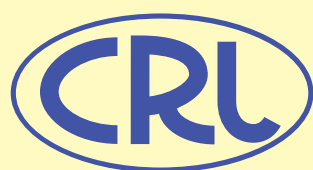


ISSN 1347-1694

Vol. VII 2007

# セラミックス基盤工学研究センター年報



## Annual Report of the Ceramics Research Laboratory Nagoya Institute of Technology

名古屋工業大学  
セラミックス基盤工学研究センター



## 目 次

### 〈論文〉

検出システムの数え落しの影響を受けた観測強度データの統計的な性質 .....	井田 隆・大矢哲久・日比野 寿	1
構造的観点からみた $Gd_3RuO_7$ の相転移 .....	中野裕美・立石賢司・石澤伸夫	7
太陽電池用高純度シリコンの新しい製造法 (IV) .....	島宗孝之・石澤伸夫・日比野 寿・荒木 規	17
その場加熱による $YBa_2Cu_3O_{6+x}$ 線材の内部摩擦と酸素緩和の測定 .....	小澤正邦・稲垣雅彦	23

### 〈総説〉

セラミックス粉体成形の壁 .....	藤 正督, 山川智弘, 渡辺秀夫, 遠藤健司, 高橋 実	29
工業用砥石磨材の再生による有用化 (1) .....	山口幸男	45
砥粒内包工具による SiC 単結晶の研磨の試み .....	佐藤 誠・山口幸男	49

### 〈解説〉

高周波磁界検出用磁気光学インディケータの作製と評価 .....	安達信泰・植松大輔・太田敏孝	55
------------------------------------	----------------	----

### 〈技術報告〉

セラミックス紙を用いたペーパークラフト .....	太田敏孝・安達信泰・荒木 規・道村美智子・八木慎太郎	61
------------------------------	----------------------------	----

### 〈留学生レポート〉

Two French Students in Japan .....	Alexandra Dancieux, Stagnol Damien	63
---------------------------------------	------------------------------------	----

〈研究業績〉 .....		67
--------------	--	----

〈センターニュース〉 .....		84
------------------	--	----

## 「名古屋工業大学 セラミックス基盤工学研究センター年報 論文投稿規則」

### 1. 投稿資格

投稿資格は、名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター職員または職員が共同執筆者であることを条件とする。ただし、編集委員会による原稿依頼の場合はこの限りではない。

論文は研究課題に関するものとする。

### 2. 報文の種類

報文の種類は、(1) 学術論文（原著に限る。）、(2) 解説論文、(3) 総説論文、(4) 技術報告とする。

### 3. 報文の構成

報文の構成等はそれぞれの分野の慣例に従うものとする。

### 4. 原稿の書き方

論文執筆要領については別に定める。

### 5. ページ数の制限

以下のページ数はすべて刷り上がりのもを示す。ただし、編集委員会で認められた場合にはこの限りではない。

論 文 原則として 10 ページ以内

解 説 原則として 10 ページ以内

総 説 原則として 10 ページ以内

### 6. 提出先

原稿の提出先は名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター編集委員会委員長とする。そこで受理した日を原稿受付日とする。

### 7. 提出期限

毎年度 1 月 31 日とする。

### 8. 採否

投稿原稿はすべて名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター年報編集委員会で審議する。ただし、学術論文は、名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター年報編集委員会が委嘱する査読者 2 名の審査を受ける。査読者の意見に基づき、学術論文の採否を編集委員会で決定する。編集委員会における採択決定日を受理日とする。解説論文、総説論文、技術報告に関しては、編集委員会の校閲を受けた後、編集委員会で掲載決定する。編集委員会における採択決定日を受理日とする。

### 9. 原稿の責任と権利

掲載された論文等の内容についての責任は著者が負うものとする。また、その著者権は著者に属する。編集著作権は名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センターに属する。



## 編集後記

当センターは設置以来、学術研究、学部・大学院教育、公開講座、共同研究・受託研究など多岐に亘る活動を続けております。これらの活動状況を広く皆様に知っていただくため、当センターでは毎年、年報の形式で公開しております。今年度はこの年報に2つの大きな変革がありました。第一の変革は、査読制度のルールを明文化したことです。これまでもセンター教員を中心に事実上の査読・校閲を行ってまいりましたが、これらを明確なルールとしました。また、これを機会に地域連携プロジェクト研究所のプロジェクト教授をお願いしております、外部研究機関の先生方にも編集委員として参加頂くこととしました。これは、外部の評価を受けることにより、年報のクオリティー向上につながると判断したからです。また、第二の変革は、年報出版費用を広告掲載費で充当することになったことです。平成16年度の国立大学法人化以降の自主運営化の一環であります。本年1月の広告掲載制度決定から、本年報が初の出版物であると聞いております。短期間で多くの企業の皆様から広告掲載のお申し入れを頂きました。皆様のご協力のお陰で、立派な先例となれたと自負しております。広告掲載企業の皆様には深く御礼申し上げます。今後も充実した研究活動等の活動を行い、多くの成果を皆様に御紹介できるよう努めてまいりたいと思います。本年報をご一読いただいた感想、年報に対するご意見等御座いましたら、今後の参考にさせていただきますので是非編集委員会までお知らせください。

### 編集委員

石澤伸夫      太田敏孝      小澤正邦  
藤 正督      井田 隆      安達信泰  
プロジェクト教授 小林雄一  
(愛知工業大学)  
プロジェクト教授 加藤昌宏  
(多治見市陶磁器意匠研究所)

---

## 名古屋工業大学

### セラミックス基盤工学研究センター年報 Vol.7

平成20年3月31日発行

責任編集者 藤 正督 (名古屋工業大学セラミックス  
基盤工学研究センター)

発行所 名古屋工業大学  
セラミックス基盤工学研究センター  
〒507-0071 多治見市旭ヶ丘 10-6-29  
電話 (0572) 27-6811 FAX (0572) 27-6812  
URL <http://www.crl.nitech.ac.jp/>

印刷所 株式会社コムラ  
〒501-2517 岐阜市三輪プリントピア  
電話 (058) 229-5858

---

